

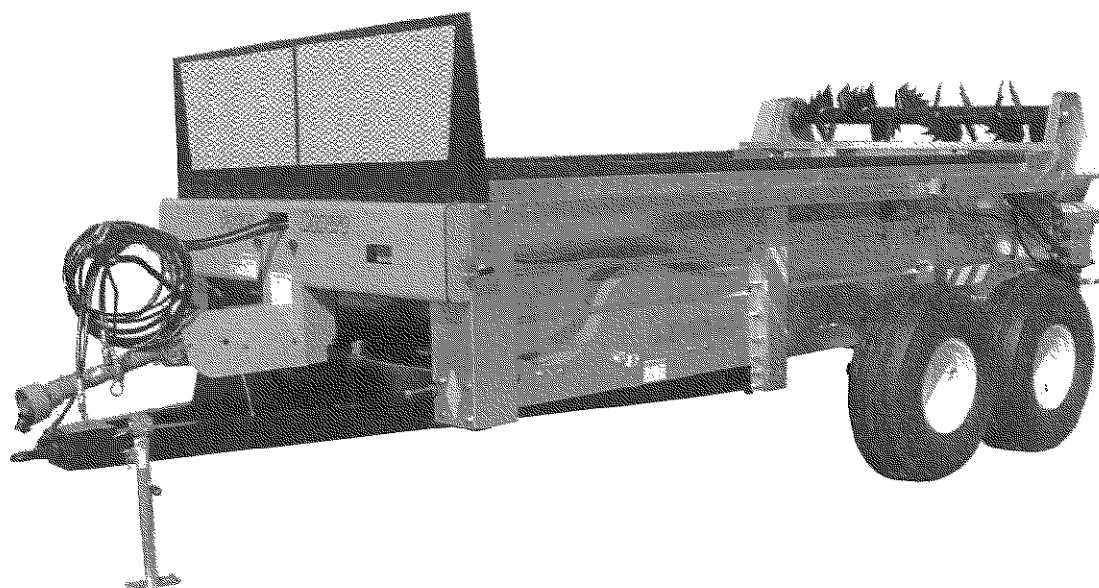
取扱説明書及び部品表



マニアスブレッダ

LD7800・LD8800

LD10800



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**マニアスプレッタ**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。

(部品コードは裏表紙に記載してあります。)

- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちにに取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

- | | |
|------|--|
| ⚠ 危険 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。 |
| ⚠ 警告 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。 |
| ⚠ 注意 | その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。 |

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	8
各部の名称とはたらき	9
トラクタへの装着	10
1. 装着のしかた	10
2. ユニバーサルジョイントの取付け	10
3. 油圧ホースの接続	11
運転に必要な装置の取扱い	12
1. スタンドの取扱い	12
2. マニアパンの取扱い	12
3. コンベア送り装置の取扱い	12
作業方法	13
1. 作業手順と要点	13
2. 移動するときは	14
3. 堆肥の積込み方法	14
4. 散布できないものは	14
5. コンベア送り装置の調整	14
6. 散布量とトラクタ速度について	15
7. 散布方法について	15
8. 傾斜地での作業	16
9. 逆転操作	16
作業前の点検について	17
1. 点検一覧表	17
簡単な手入れと処置	18
1. コンベアチェーンの張り調整	18
2. サブピータ・メインピータ 駆動チェーンの張り調整	18
3. シェアボルトの交換	19
4. 洗浄について	19
5. タイヤの点検、修理	19
6. 各部の注油・グリスアップ	20
7. 長期格納時の手入れ	23
不 調 診 断	24
付 表	25
1. 主要緒元	25
2. 主な消耗部品	25
3. 給油	25

⚠ 安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠ 表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解した上で使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

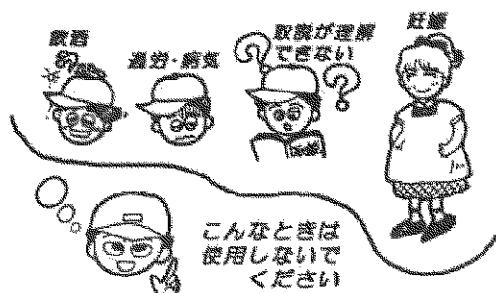
機械を他人に貸すとき、または他人に運転をさせるときは、運転の仕方を教え、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

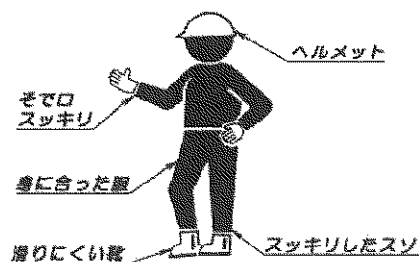
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。
- 16歳未満の人



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



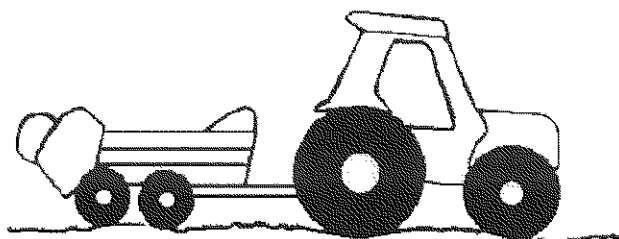
(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

● 適応トラクタ

型式	適応トラクタ kw(PS)
LD7800	36.8~73.6 (50~100)
LD8800	44.1~73.6 (60~100)
LD10800	58.9~88.3 (80~120)

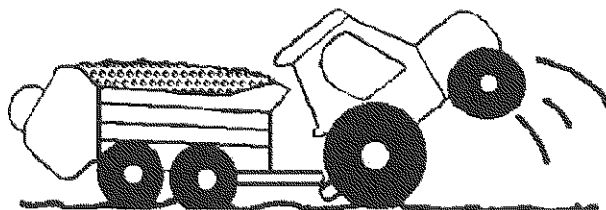
- ドローバ : スイングドローバ
- PTO回転速度 : 540min⁻¹(rpm)
- 油圧取出し : 複動1系統



(4) 装着時の前後バランス確認

ドローバに取付けて堆肥などを積載したときのヒッチ荷重に、トラクタ質量を加えた20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。

もし、不足するときはフロントウエイトを取付けて、20%以上を確保するかできなければ装着しないでください。



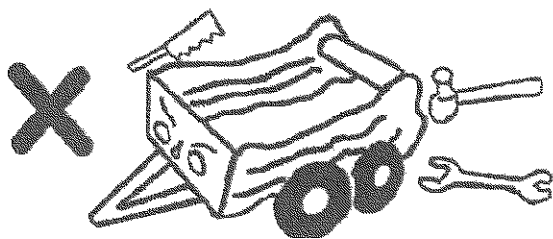
⚠ 安全に作業するために

(5) バランスウエイトの取付け

トラクタのバランスウエイトは指定された部分に指定されたウエイト以外は取付けないでください。

(6) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。また、改造はしないでください。



(7) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。

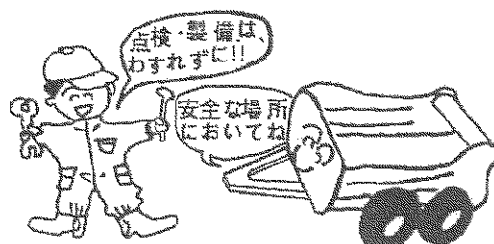


(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でP.T.O.を切り、トラクタのエンジンを停止させ、駐車ブレーキ又は車止めをしてから行ってください。



(4) 機械を常にきれいに

本機の性能を長期間維持するためにも、機械を常にきれいに維持してください。



(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでトラクタのエンジンを始動するときは、エンジンの排気ガスによる中毒のおそれがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所でし、やむをえず屋内で使用する場合には、十分換気を行ってください。



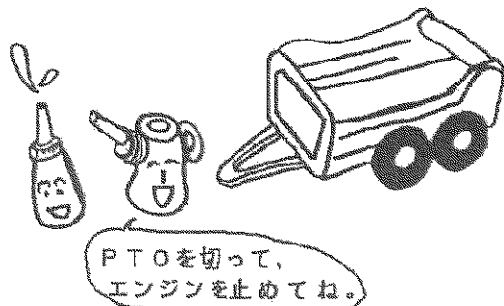
(6) カバー類を必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずエンジンを止めてから行ってください。また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。

⚠ 安全に作業するために

(7) 注油・給油をするときは

P T Oを切り、エンジンを止め、回転部分が完全に停止してから行ってください。

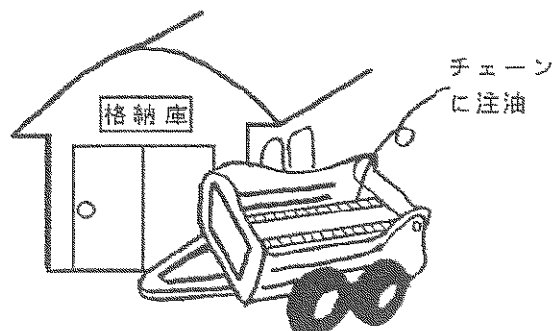


(8) 高圧油に注意してください

- ① 高圧油による傷害を防止するために、配管・ホースなどの取外し前には、必ず圧力を抜いてください。
- ② 圧力をかける前に配管・ホースなどは、正しく確実に締め付けてください。
- ③ 非常に小さな穴からの油漏れは、ほとんど目に見えないことがあります。手で油漏れを探すことはやめてください。必ず、保護メガネをかけ、紙などを使用して調べてください。
- ④ 漏れによる火傷やケガを負った場合は、速やかに医者診療を受けてください。

(9) 長期格納するときは

機械をきれいにし、回転部及びチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に車止めをして保管してください。

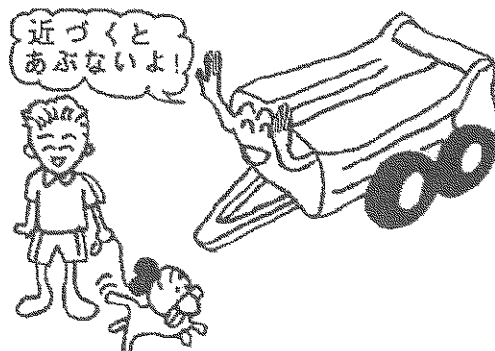


3 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

また、ビータの回転をするときは付近に人や器物がないことを確認してから行ってください。



(2) エンジンを始動するときは

クラッチを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。周囲の安全を確かめ、急発進をしないよう徐々に発進してください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(3) 2人以上で作業するときは

2人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。

(4) 回転中のビータには触れない

回転しているビータに巻き込まれると重傷を負うことがあります。手や足で絶対に触れないようにしてください。

(5) シェアボルトの交換や巻付き堆肥などを取り除くには

P T Oのクラッチを切り、エンジンを必ず止めてから行ってください。

⚠ 安全に作業するために

(6) 急な発進・停止・旋回・スピードの出しすぎ禁止

スピードを出しすぎたり、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起伏の多いほ場や傾斜地は、危険です。作業スピードは極力低くして作業を行ってください。

(7) 傾斜地で作業するときは次のことを必ず守ってください

① 斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。斜面の作業は、必ず直角方向に走行してください。

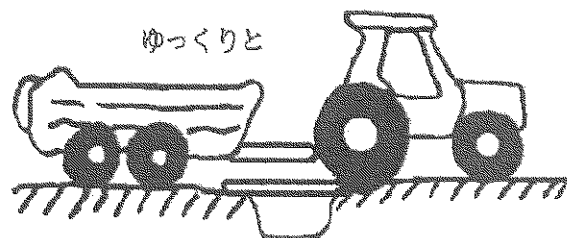
② 傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。高速で旋回すると、転倒する危険があります。

(8) キャビンなしのトラクタに装着して作業する場合

堆肥が前方に飛散し、目に入るおそれがありますので必ず保護メガネを着用して作業してください。

(9) 溝やあぜを横断したり軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。

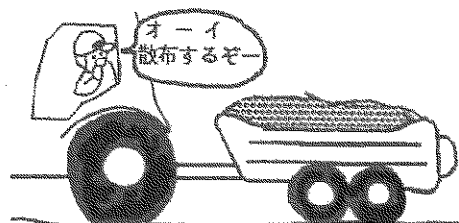


(10) 作業途中で運転席より離れるときは

機械を平坦な場所に降ろし、PTOを切りエンジンを止め、駐車ブレーキを掛けてください。また、本機に車止めをしてください。

(11) 堆肥を散布するときは

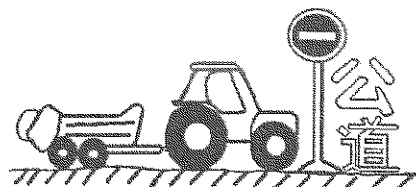
堆肥散布を始めるときは、後方に人や障害物のないことを十分確認し、散布距離を考慮して散布してください。



4 道路走行・輸送するときは

(1) トラクタに装着しての公道走行禁止

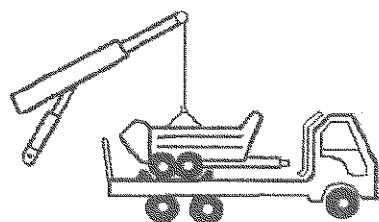
トラクタに本機械を装着して公道を走行すると運送車輛法に違反します。トラクタに装着しての走行はしないでください。



(2) トラックなどへの積込み、積降しは

平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを止め、サイドブレーキをかけ車止めをしてください。

積込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。

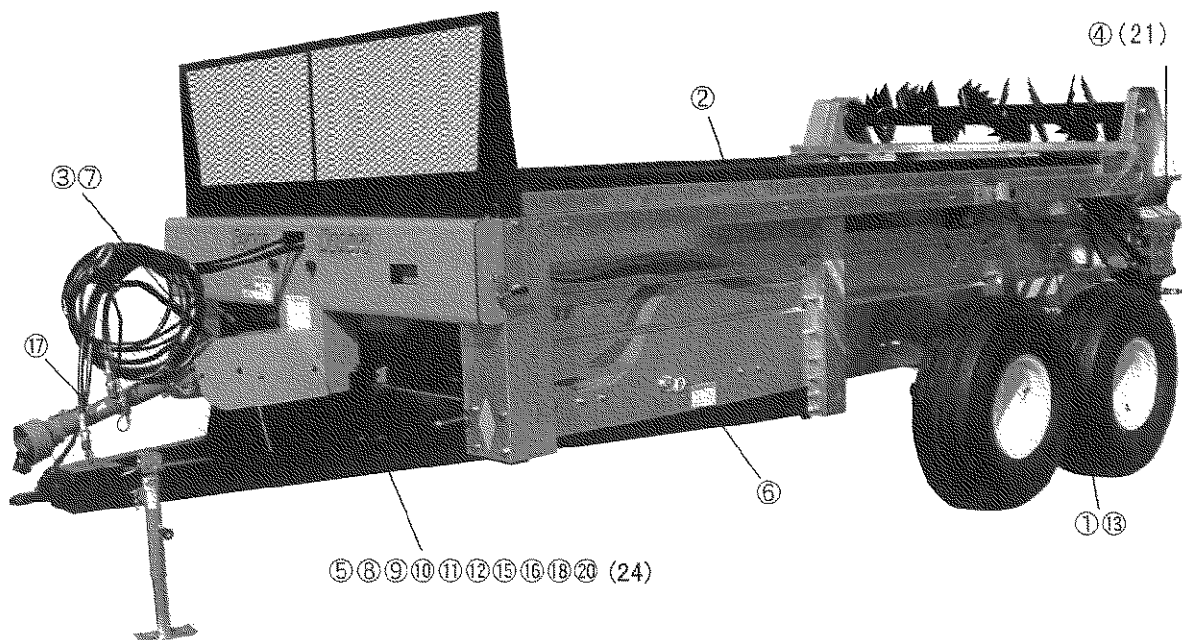


以上、機械の取扱いで注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも

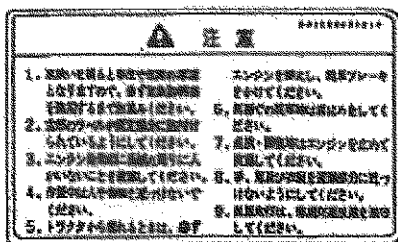
本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

安全に作業するために

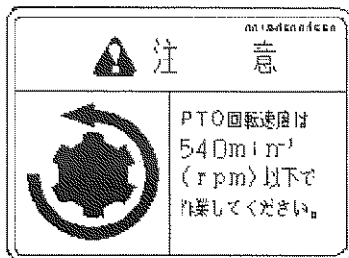
5. 警告ラベルの貼付け位置



③部品コード 00120-6000-210



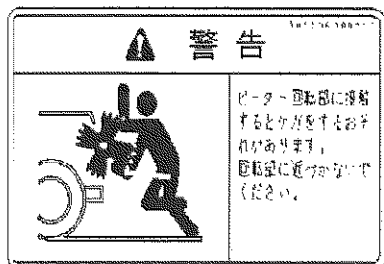
⑤部品コード 00130-6000-960



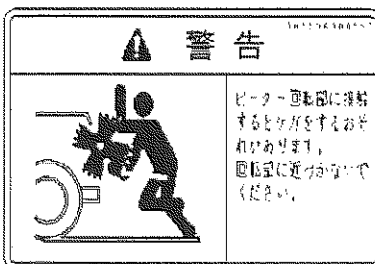
⑧部品コード 00130-6000-190



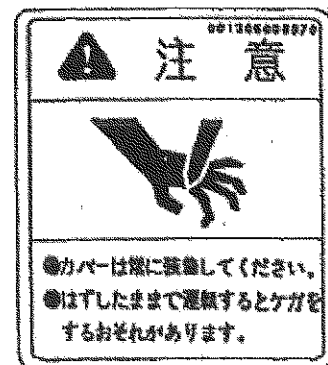
④部品コード 00120-6000-250



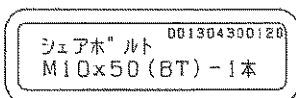
⑥部品コード 00120-6000-250



⑨部品コード 00130-6000-070



⑦部品コード 00130-6000-260

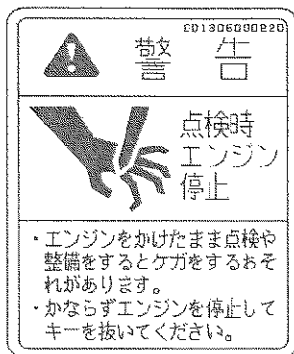


⚠ 安全に作業するために

⑪部品コード 00130-6000-080

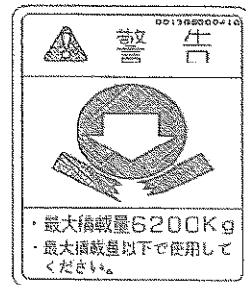


⑩部品コード 00130-6000-220

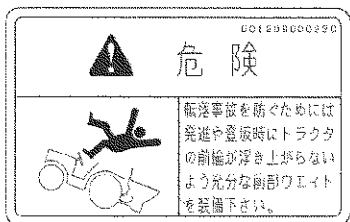


⑩部品コード 00130-6000-430

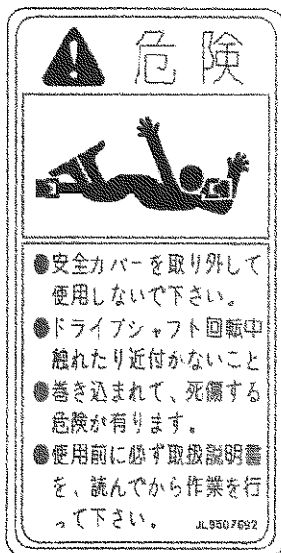
(LD7800 専用)



⑫部品コード 00120-6000-230

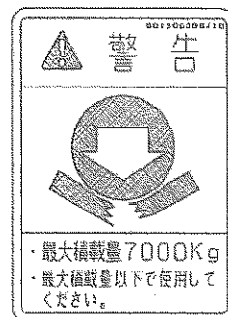


⑰部品コード 00130-6950-010

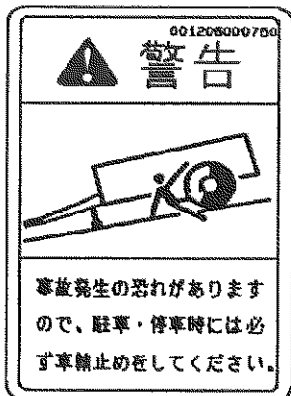


⑬部品コード 00130-6000-440

(LD8800 専用)

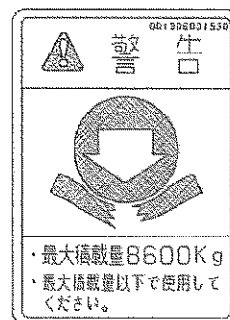


⑬部品コード 00120-6000-750



(24) 部品コード 00130-6001-530

(LD10800 専用)



⑮部品コード 00130-6000-210



⚠ 安全に作業するために

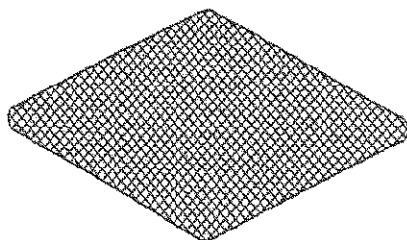
①部品コード 00130-6000-370



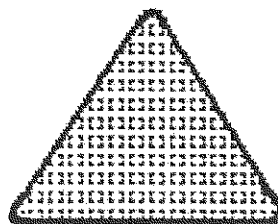
②部品コード 00130-6000-380



⑳部品コード 00130-6000-290



(21)部品コード 11672-2634-000



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店又は当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。



本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、堆肥散布にご使用ください。

使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

- 品名と型式
- 機体 No. (SER-NO.)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

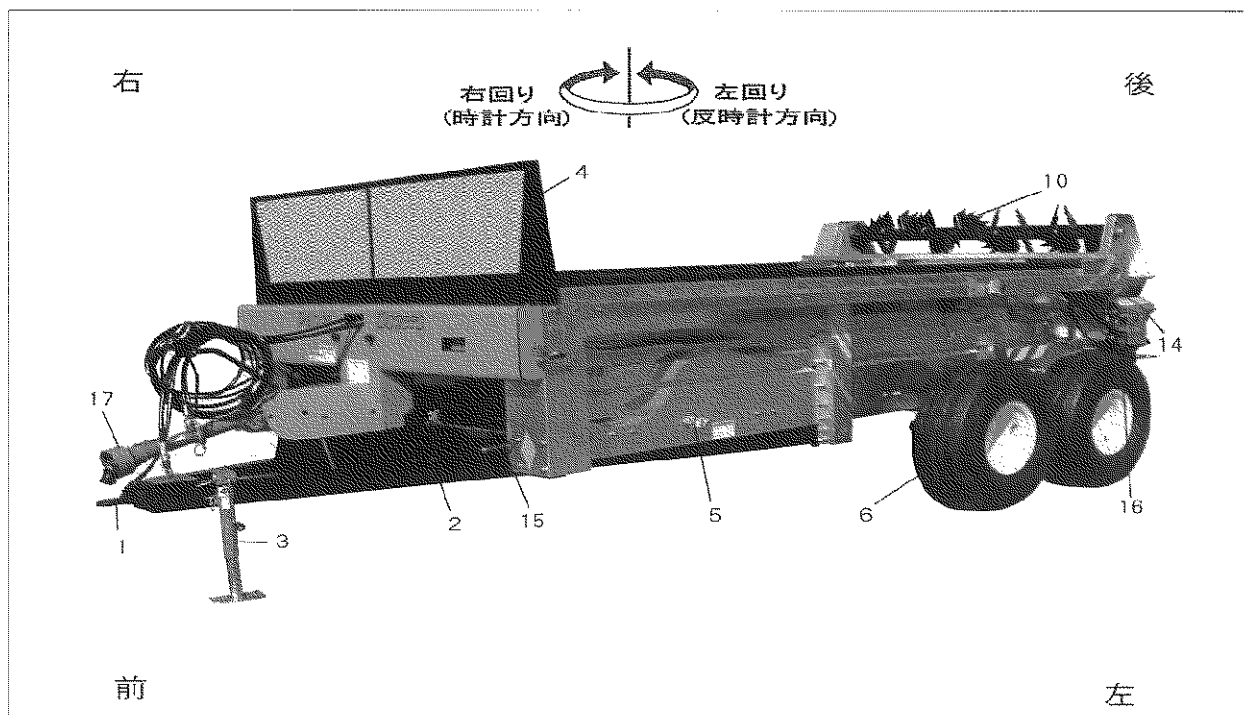
【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品 名	マニアスプレッダ		
型 式	LD7800	LD8800	LD10800
機 体 No. (SER-NO.)			
購 入 年 月 日	年	月	日
販 売 店 名	TEL : ()		

各部の名称とはたらき

◆機体方向の説明

この取扱説明書で使用している“前後、左右、左回り、右回り”などの方向は、下図の通りに決めています。



番号	名 称	はたらき
1	けん引かん	トラクタと連結する
2	フレーム	全体の荷重を支える
3	スタンド	トラクタの装脱着時及び保管時に使用する
4	ストンガード	トラクタへの石、堆肥の飛散保護をする
5	左右側板	腐食に強い亜鉛メッキ側板
6	タイヤ	低圧、広幅タイヤでは場を傷めません
7	ミッション	トラクタの動力をビータへ伝達する
8	コンベア駆動ミッション	コンベア駆動の変速ミッション
9	メインビータ	ハネの回転で堆肥を細断散布する
10	補助ビータ	上層堆肥をならす
11	チェンカバー	ビータを回転するチェンのカバー
12	マニアパン	詰まった異物の清掃、除去を行うときに開く
13	ジョイントカバー	入力軸の危険防止カバー
14	オートカバー	床コンベアの送り変速を指定する
15	テンションボルト	コンベアの張り調整を行う
16	車輪止め	駐車時のブレーキ
17	ユニバーサルジョイント	トラクタからの動力を本機に伝える
18	コンベア	堆肥を移送する

トラクタへの装着



警告

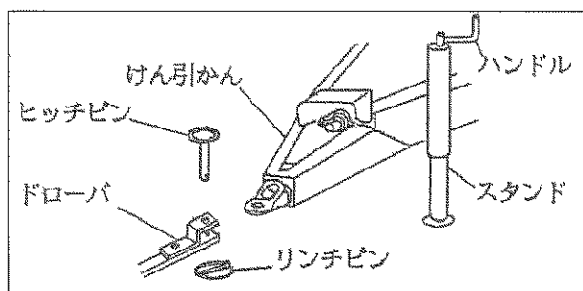
- トラクタへの本機装着は、平坦で安定した場所で行ってください。
- ドローバへの装着はトラクタの動きに十分注意し、2人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ユニバーサルジョイントの接続は、必ずトラクタのエンジンを止め、P T Oクラッチを切ってから確実に取付けてください。

以上のことを守らないと傷害発生の恐れがあります。

1. 装着のしかた

◆ドローバへの装着

- ①ドローバを一番短い位置にしてください。
- ②本機、けん引かんの取付部を、スタンドのハンドルを操作してトラクタのドローバの高さに合わせ、トラクタを後進し、穴位置を合わせてヒッチピンで確実に装着してください。

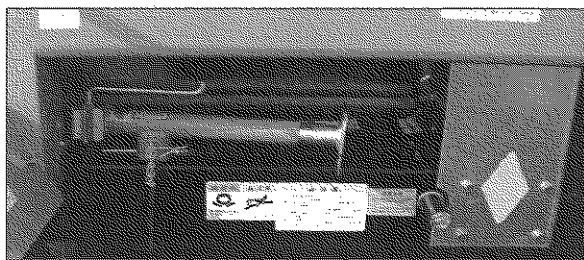


注意

- ドローバを最短にして、本機を装着してください。
- ヒッチピン挿入後は必ずリンチピンを入れ、抜け止めしてください。

◆スタンドを取外して格納してください

スタンドを取外し、フレームに格納してください。(スタンド操作のページ参照)



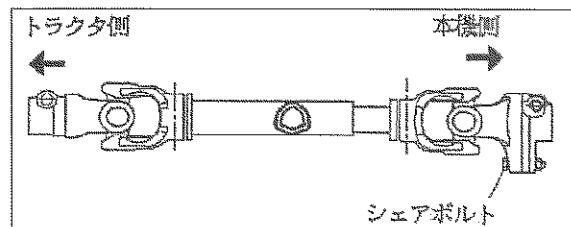
2. ユニバーサルジョイントの取付け

◆ユニバーサルジョイントの取付け順序

本機入力時に取付けてから、トラクタ P T O 軸に確実に取付けてください。

注意

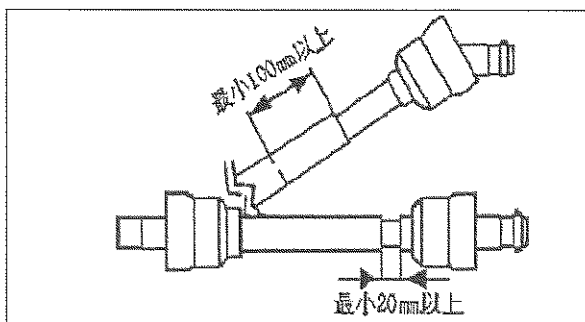
下図のように、シェアボルト付ヨークを本機側に取り付けてください。



◆ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイントの長さは本機が旋回するときに変化します。

先に、ジョイントが長すぎないかを確認してください。長すぎる場合は、下図の寸法が確保できるように切断してください。



注意

作業時のジョイント角度は最大 30 度を超えないように調整をしてください。30 度を超えるとジョイントの破損の原因となります。

トラクタへの装着

◆カバー回転止めチェーンで固定を

ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕を付けてしっかりと固定してください。

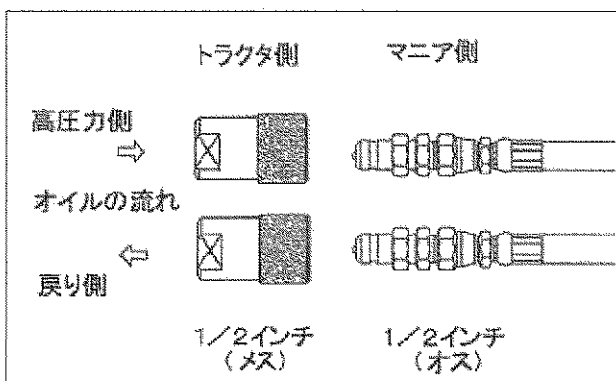
3. 油圧ホースの接続

◆接続は残圧を抜いてから

- ①トラクタのエンジンを停止し、トラクタの油圧操作レバーを押し引きして残圧を抜いてください。
- ②油圧ホース先端についている油圧カップラオスを、下図のようにトラクタの油圧カップラに差し込んでください。

注意

トラクタの油圧カップラのメーカー及び規格が異なると、油圧コンベアが正常に作動しません。必ずトラクタに合った油圧カップラを使用してください。



注意

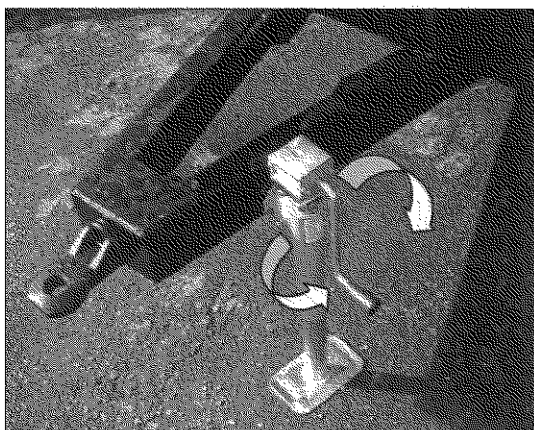
- 油圧ホースを取外す場合は、トラクタの油圧レバーを押し引きしてトラクタの残圧を確実に取り除いてください。
- 油圧ホースをトラクタから外したときは、必ず付属のダストキャップをカップラに差込み、傷をつけないようにしてください。

運転に必要な装置の取扱い

1. スタンドの取扱い

◆スタンドの操作のしかた

- ① スタンドはネジ式スタンドを使用しています。(空車時しか使用できません)
- ② ハンドルを右に回すと縮み、左に回すと伸びます。
- ③ ピンを抜いてスタンドを上げ、地面との距離をとってください。

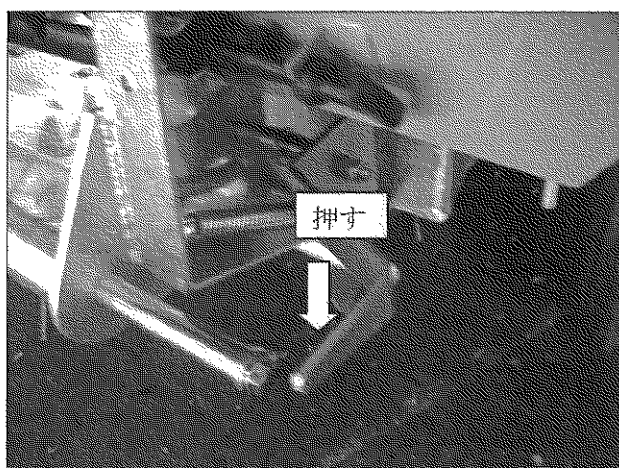


2. マニアパンの取扱い

◆マニアパンを開くときは

ビータに詰まった堆肥、異物などを取り除くときや、本機を清掃・洗浄するときに開いてください。

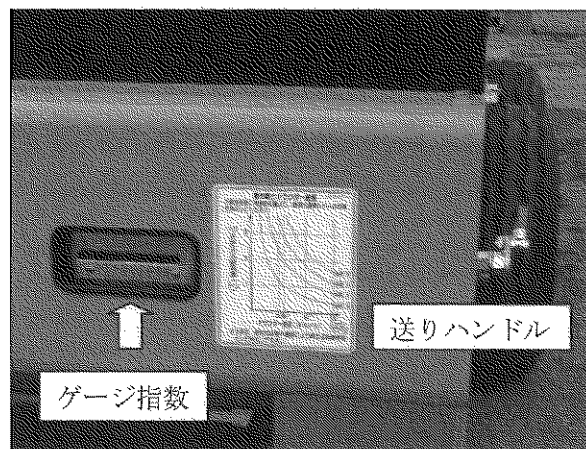
開く手順は左右のロックを外すとマニアパンが開きます。



3. コンベア送り装置の取扱い

◆散布量を調整するときは

調整レバーを回して、希望する散布量の位置にゲージ示針を合わせてください。



⚠ 注 意

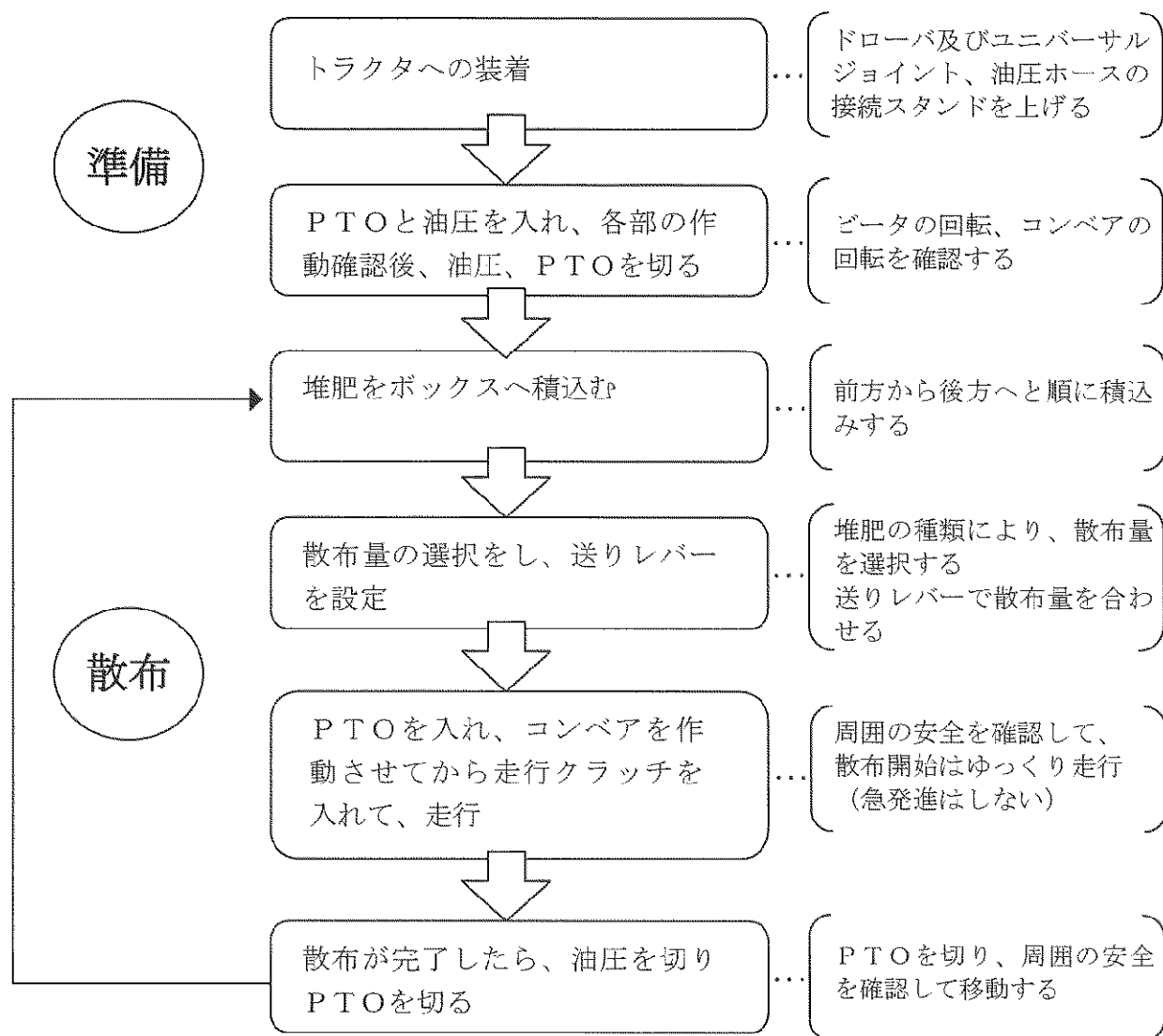
堆肥の中に石や木片、氷などの異物が混入していると、コンベア速度が極端に遅くなったり、停止することがあります。必ず積込み前に異物を取り除いてください。

注 意

コンベア速度7は洗車時、コンベアを床の上(表)と床の下(裏)を早く逆にするときのみに使用してください。

作業方法

1. 作業手順と要点



作業方法

2. 移動するときは

移動するときは、トラクタのブレーキがきく、安全な速度で走行してください。

注意

下り坂を走行する場合は、トラクタのエンジンブレーキを使用してゆっくり走行してください。

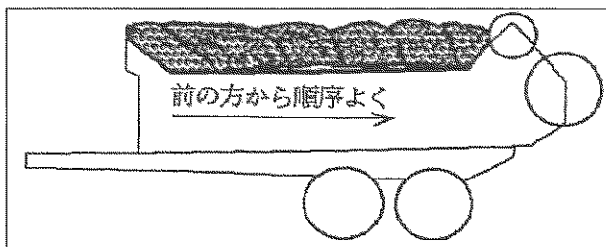
警告

- 本機を装着しての運転は、周りの条件に適した速度で行ってください。
絶対に急発進、急ブレーキ、急ハンドルは行わないでください。
- 旋回するときは、重心の変化や機械の長さ、幅に十分注意してください。

3. 堆肥の積込み方法

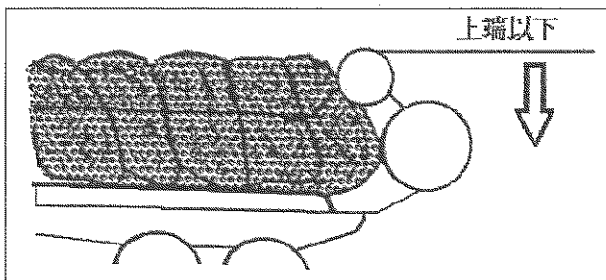
◆前の方から順序よく積込みしてください

堆肥を積込むときは、前方から後方へと順序よく積込むと、散布時に堆肥がほぐれやすくなります。



◆ビータの上端まで積込みしてください

堆肥の積込み高さは、ビータの上端以下とし、上面全体を平らにならしてください。



注意

堆肥を平らにならすとき、上から押さえつけないでください。堆肥を圧縮すると、散布性能が悪くなります。また、故障の原因となります。

◆石などは取り除いてください

堆肥に石や木片などの異物が混入していると、本機損傷の原因となります。積込み作業中に発見したら、必ず取り除いてください。

警告

堆肥を積込むときは、PTOを切ってエンジンを停止させてから積込み作業をしてください。

4. 散布できないものは

◆土、砂などは散布できません

堆肥以外に粒状肥料は散布できますが、下記の物は散布できません。

土、砂、石、砂利、ブロック類
木材類、氷、鉄くず など

5. コンベア送り装置の調整

◆送り量を設定する時は

通常散布する場合は、送りレバーを回して、希望する散布量の位置にしてください。

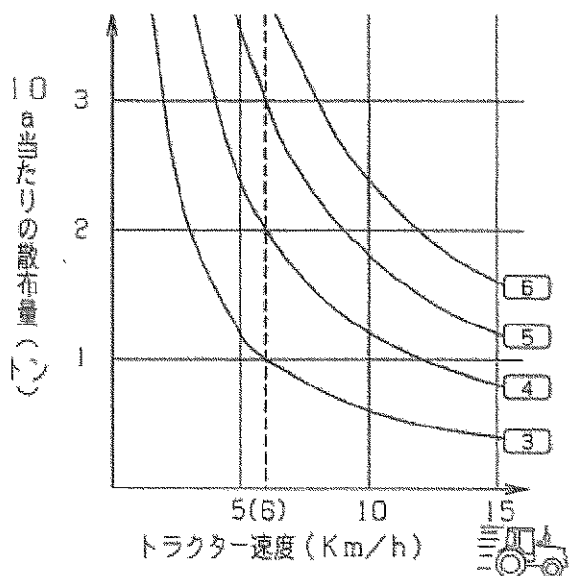
作業方法

6 散布量とトラクタ速度について

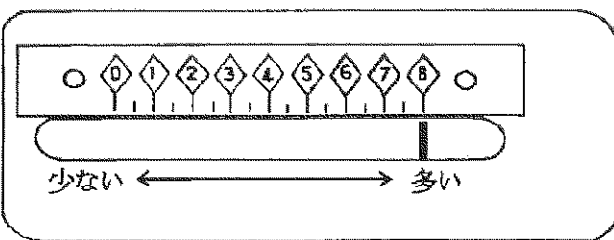
◆散布量設定のしかた

自動送り装置を使用して散布する場合、下表を目安に希望する散布量により、トラクタの車速と送り装置の調整レバーで位置を設定してください。

表：散布量とトラクター速度（目安表）



「目盛り」



散布量目安表「散布量とトラクタ速度」は、本機前方の左側（後方視）に貼り付けてあります。

散布量は堆肥の種類によって異なりますので、参考値としてお考えください。

<例> 10 a 当たり 2 トン 散布 したい 場合は、
目盛 4 で トラクタ 車速 6 km/h となります。

7 散布方法について

◆作業手順

- ① エンジン回転速度を低速にして、PTOを入れ、トラクタの油圧を入れてコンベアを作動させる。
- ② 堆肥がビータまで送られ、飛散したら走行クラッチを入れ、設定速度で走行してください。

⚠ 注意

- PTOとトラクタの油圧を入れるときは、必ず次の手順で入れてください。
 - ① PTOを入れる
 - ② トラクタの油圧を入れる。
- 逆に入れると、ユニバーサルジョイントのシェアボルトがせん断します。
- 止めるときは上記を逆にし、トラクタの油圧を切ってからPTOを切ってください。

注意

エンジンを高速回転させ、PTOクラッチを入れるとシェアボルトがせん断します。
必ずエンジン回転速度を低速にしてからPTOクラッチを入れてください。

作業方法

⚠ 注意

散布作業を始めるときは、後方に人や動物のいないことを確認してください。

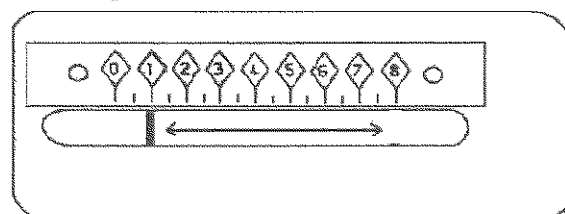
◆PTO回転速度

散布作業を行うときは、PTOの回転速度は $500 \sim 540$ (最大) $\text{min}^{-1}(\text{rpm})$ で行ってください。

◆通常散布を行う場合は

散布目盛は送り装置のレバーを回して、1～6の位置で行います。

「目盛」



◆スラリー散布を行う場合は

スラリー散布をするときは、ゲートアタッチメント(別売り)を装着して行ってください。

8. 傾斜地での作業

◆必ず直角走行、急ハンドル禁止

等高線に対して直角走行し、旋回は速度を落とし、急ハンドルは切らないでください。

⚠ 警告

斜面の等高線に平行、または斜め走行や急旋回は横転の危険がありますので、決して行わないでください。

9. 逆転操作

堆肥がつまり逆転をする時は、トラクタのエンジン回転を必ずアイドルリングまで落としてから行ってください。

そのとき、下図のパネは必ず全圧縮の状態にあることを確認してください。



作業前の点検について

作業の安全確保と故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。
作業前の点検は、欠かさず行ってください。



- 取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたり危険です。
- 点検整備をするときは油圧を切り、エンジンを停止させて回転が止まってから行ってください。

点検一覧表

No.	項 目	内 容	参照	チェック
1	コンベアチェンの張り調整	200mm	18	
2	ビータ駆動チェンの張り調整	たわみ量 10～15mm(メインビータ) 15～25mm(サブビータ)	18	
3	ビータのヒモなどの巻きつき	ヒモ、草巻きつきを除去	—	
4	ビータハネの摩耗	交換する	—	
5	ビータハネ取り付けのゆるみ	増締めをする	—	
6	ミッションオイルの給油	ギヤオイル#90 補充 (0.6 リットル)	25	
7	コンベア駆動ミッション	スーパーギヤオイル 460#(1.5 リットル)	25	
8	予備シェアボルト	不足の時は、補充	19	
9	タイヤ空気圧	不足の時は、空気補充	19	
10	タイヤハブナットのゆるみ	増締めをする	—	
11	その他各部注油、グリス	各部への給油参照	20～22	

以上について、異常が認められない場合は、PTO回転速度 500～540min⁻¹(rpm)まで徐々に上げ、1～2分間ならし運転を行ってから作業を始めてください。

点檢大子

[illegible]

簡単な手入れと処置

注意

チェーンは特に初期伸びをします。初めての使用から 10 時間後は下記に従って、張り調整を行ってください。

警告

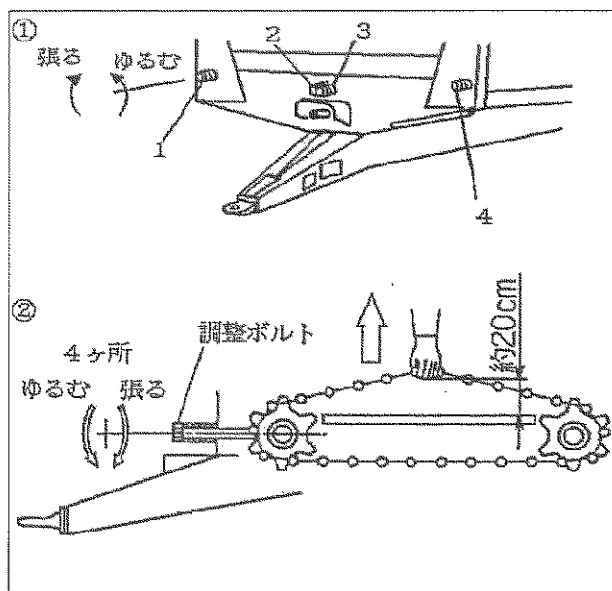
- ①チェーンの張り調整や、各部の調整をするときは、PTOを切り、エンジンを停止させて回転部が止まってから行ってください。
- ②取外したカバー類は、必ず取付けてください。

1. コンベアチェーンの張り調整

◆調整のしかた

コンベアチェーンが伸びた時は、次の要領で調整してください。

- ①下図に示す 1～4 の張り調整ボルトを右に回し、左右均一に張ってください。
- ②コンベアバーの中央部を手で持ち上げて、床面との距離を約 20cm になるよう調整してください。



注意

コンベアチェーンは必ず左右均一の張り調整をしてください。

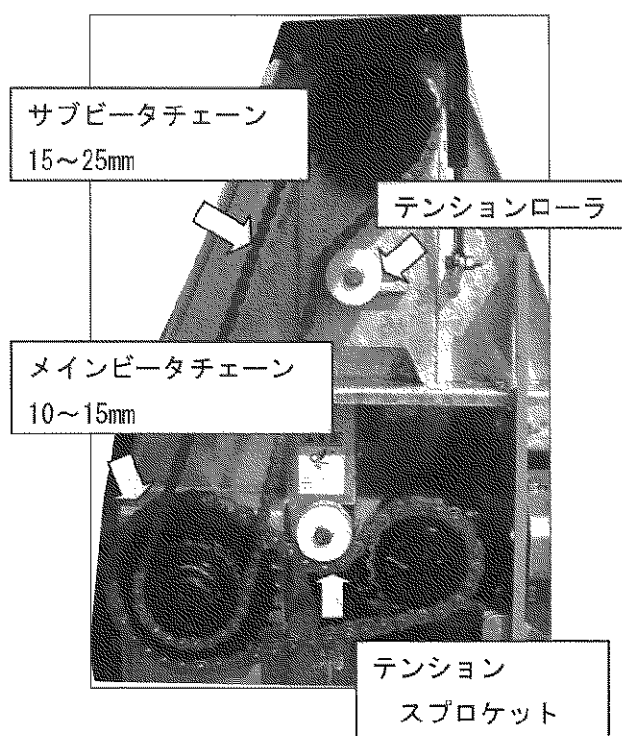
2. 各駆動チェーンの張り調整

◆サブビータチェーンの調整

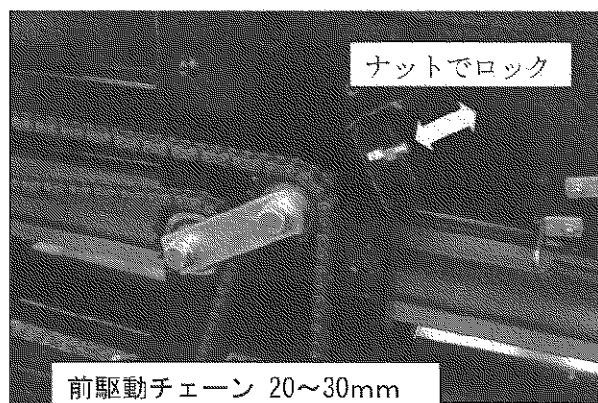
テンションローラを締め付けているボルトを少しゆるめ、テンションローラを押し込み、たわみ量を 15～25mm に調整し、ボルトを締め付けてください。

◆メインビータチェーンの調整

テンションスプリングを締め付けている下側のナットを少しゆるめ、上側のナットを締め上げてたわみ量を 10～15mm に調整し、下側のナットでロックしてください。



◆前側駆動チェーンの調整のしかた



簡単な手入れと処置

3. シェアボルトの交換

シェアボルトはユニバーサルジョイントのヨーク部1ヶ所に組入れしております。過負荷がかかったとき、ボルトがせん断され、ビータの回転が停止します。

◆シェアボルトのサイズ

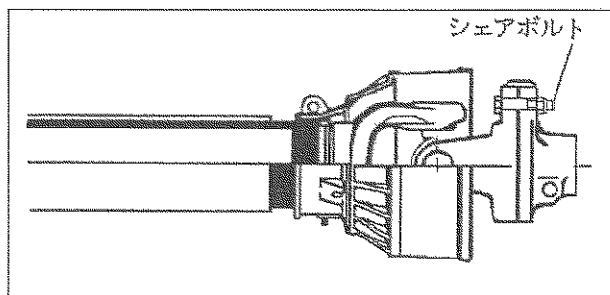
M8×45(8T)半ネジ 1本

注意

シェアボルトは上記指定のボルト以外は絶対に使用しないでください。

◆ボルトがせん断したら交換してください

せん断したボルトを除去し、ボルト穴を合わせてからシェアボルトを入れ、ユルミドメナットで締め付けてください。



注意

再始動するときは、ビータの異物などを取り除いてから行ってください。

4. 洗浄について

◆本機を洗浄するときは

P T Oを切りエンジンを停止させて、回転部が停止してから洗浄してください。

◆コンベア床下(裏)を洗浄するときは

①エンジンを始動し、P T Oを入れ、コンベア送り装置を手動にする。

(P 1 2 参照)

②コンベア速度を7にして、コンベアの床上(表)と床下(裏)を入れ換える。

③コンベアが入れ換わったら、油圧を切りエンジンを停止させて、回転部が止まってから洗浄してください。

⚠危険

点検や清掃、洗浄を行うときは、必ずP T Oを切り、エンジンを停止させて回転部が止まってから行ってください。

これを怠ると重なる傷害事故につながる恐れがあります。

5. タイヤの点検、修理

◆装着のタイヤと空気圧

本機のタイヤと空気圧は下記のとおりです。定期的に点検してください。

●LD7800

11.5/85-15 10PR(チューブ入り)

常用タイヤ内圧 380kPa(3.8kgf/cm²)以下

●LD8800

14L-16.1 10PR(チューブ入り)

常用タイヤ内圧 250kPa(2.5kgf/cm²)以下

●LD10800

16.5L-16.1 10PR(チューブレス)

常用タイヤ内圧 260kPa(2.6kgf/cm²)以下

⚠危険

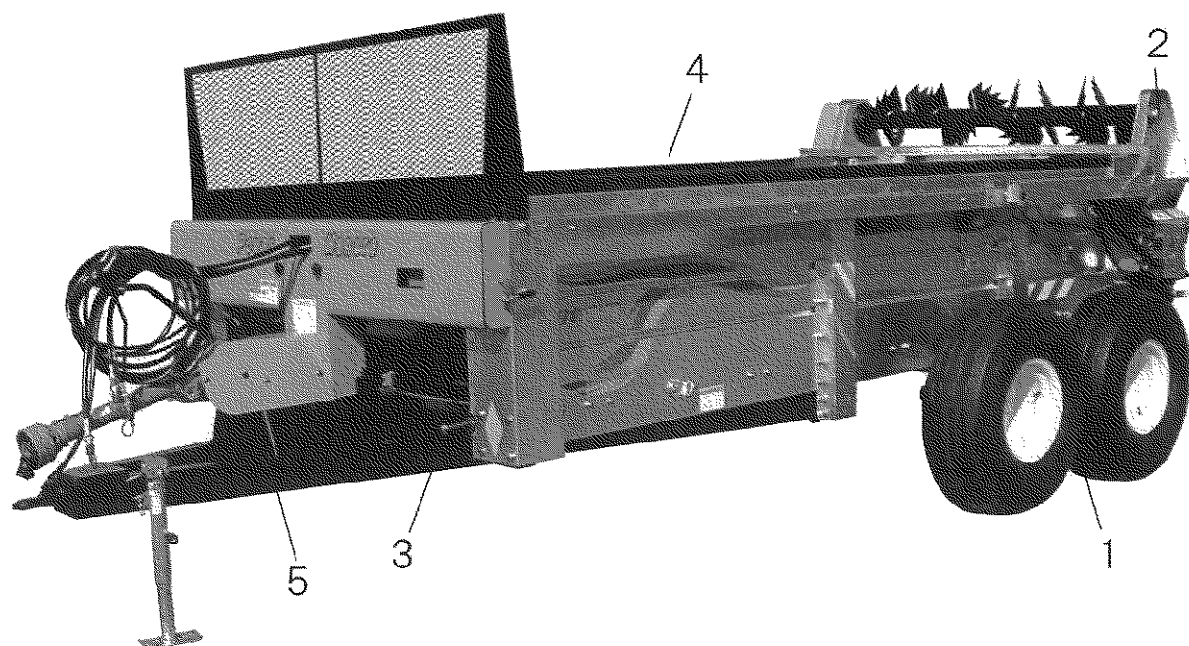
●タイヤに関する作業を行う場合は、安全な場所に本機を降ろし、必ず車輪止めをしてから行ってください。

●タイヤ及びホイールに関する修理は、十分な設備をもつタイヤショップなどの専門の所に依頼してください。

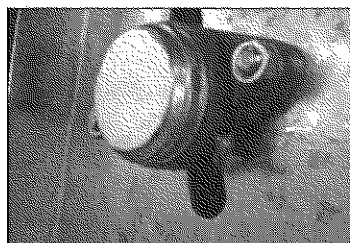
簡単な手入れと処置

6 各部の注油・グリスアップ

図表に従って各部にグリスアップを行ってください。



2



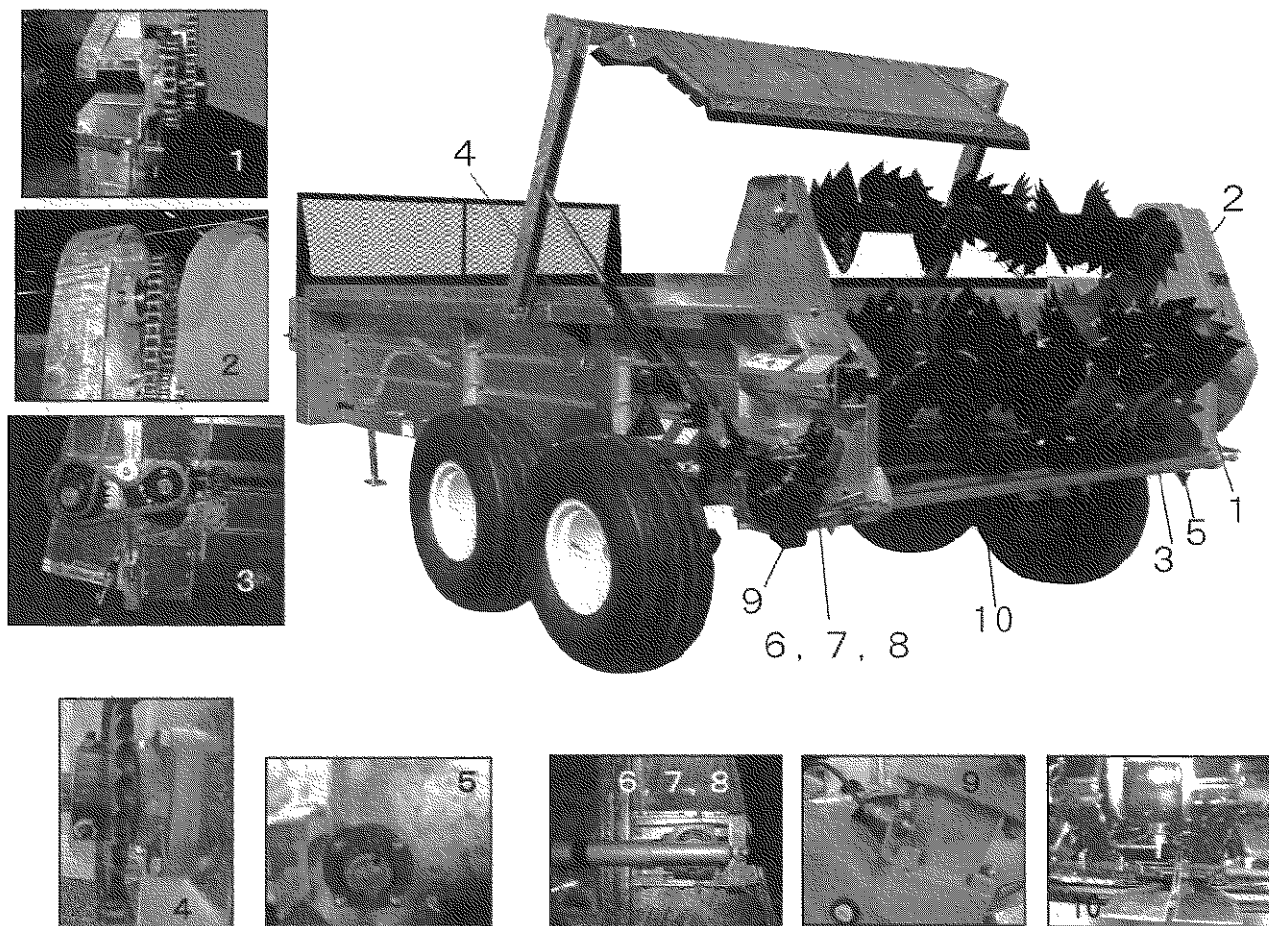
4



図番	場 所	グリスアップ時間	備 考
1	タイヤとタイヤの間(タンデムピン)	50H	
2	補助ビータ左軸受	50H	
3	床コンベア前スプロケット	50H	
4	サイドシャフトの中間軸受	50H	
5	入力軸ベアリング	50H	

簡単な手入れと処置

図表に従って各部にグリスアップを行ってください。



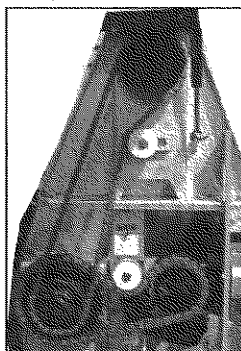
図番	場 所	グリスアップ時間	備 考
1	メインビータ右軸受	50H	
2	補助ビータ右軸受	50H	
3	チェーンテンション支点	50H	長期格納時: 廃油
4	ミッション横軸右軸受	50H	
5	コンベア駆動軸右	50H	
6	メインビータ左軸受	50H	
7	スライドベアリング上	50H	
8	スライドベアリング下	50H	
9	コンベア軸左軸受	50H	
10	センターメタル	50H	

簡単な手入れと処置

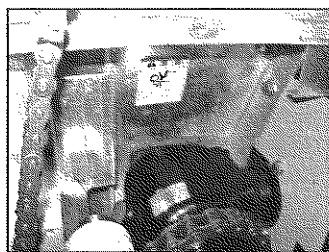
図表に従って各部に注油を行ってください。



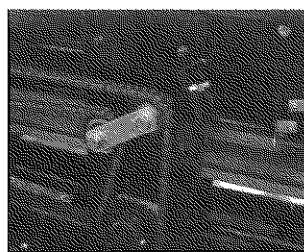
1, 2



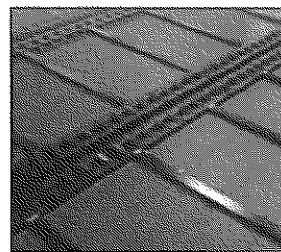
5



4



3



図番	場 所	グリスアップ時間	備 考
1	補助ビータ駆動チェーン	20H	
2	メインビータ駆動チェーン	20H	
3	コンベアチェーン	20H	長期格納時: 廃油
4	前駆動チェーン	20H	
5	ミッション	シーズン毎	

簡単な手入れと処置

7. 長期格納時の手入れ

- 水洗いして付着した堆肥や泥などを落とし、巻付いたヒモや草などを取り除いてください。
- 乾燥後は、回転部、摺動部やチェーン類には十分注油し、さびないようにしてください。
- 塗装のはがれた部分には、塗料を塗ってさびないようにしてください。
- 格納するときは、雨やほこりのかからない屋内の平坦な場所で保管してください。

不調診断

不調内容	診断	処置	参照
コンベアが動かない	● オート装置が働いている (ビータ、ハネの摩耗など) ● コンベアがゆるんでいる ● コンベアチェーン、バーの切損 ● 油圧ホースの接続が悪い ● トラクタの油圧オイル不足で所定の圧力が出ていない ● トラクタの操作が悪い	● ビータのハネを交換 ● 混入した異物を除去する ● コンベアの張り調整をする ● チェーン、バーを交換する ● 油圧カプラを確実に接続する ● 油圧オイルを補充する ● 油圧の送り方向を確認する	1 8 1 1
ビータが回転しない	● ジョイントのシェアボルトが切断した	● シェアボルトを交換する (M8×4.5 8T半ネジ) ● 混入した異物を除去する	1 9
自動送りが速くなる	● 堆肥が軽い	● 手動送りに切替える	1 2
自動送りが遅い	● 堆肥に異物が混入している ● ビータのハネが摩耗している ● スライドベアリングの動きが悪い ● ビータ端面に堆肥が詰まっている	● 異物を除去する ● 新品と交換する ● サビなどを除去し、グリスアップする ● 詰まった堆肥を除去する	2 1
散布状態が悪い (バラつく)	● ビータのハネが摩耗している ● 堆肥が軽い(自動送りの時) ● 異物が混入している	● 新品と交換する ● 手動送りに切替える ● 異物を除去する	1 2

付 表

1. 主要諸元				
品 名		マニアスプレッタ		
型 式		LD7800	LD8800	LD10800
装 着 方 法		ドローバけん引式		
駆 動 方 法		PTO駆動(回転速度 500～540min ⁻¹ (rpm))		
適 用 ト ラ ク タ		36.8～73.6kw (50～100PS)	44.1～73.6kw (60～100PS)	58.8～88.3kw (80～120PS)
機 体 寸 法	全 長	6,260mm		7,370mm
	全 幅	2,670mm	2,830mm	2,930mm
	全 高	1,940mm	1,990mm	2,040mm
質 量		1,970kg	2,070kg	2,370kg
散 布 幅		3.0m		
堆 肥 送 り 機 構		自動（0～6段）、手動（0～6段、洗車時 0～7段）		
コンベアチェーン・配列		4列		
車 輪 配 列		1軸4輪(タンデム式)		
タ イ ヤ サ イ ズ		11.5/80-15 10PR	14L-16.1 10PR	16.5L-16.1 10PR
最 大 積 載 量		6,200kg	7,000kg	8,600kg
作 業 速 度		4～6km/h		
作 業 能 率		14～17 分/10a		
ボ ッ ク ス 寸 法	全 長	4,300mm		5,400mm
	全 幅	1,730mm		
	全 高	730mm	800mm	
	容 量	7.8m ³	8.8m ³	10.8m ³

※この主要緒元は、改良のため予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗部品

品 名	部品コード	備 考
メインビータハネA	11717-2271-002	1台/16枚
シェアボルト	01158-0100-50A(旧ジョイント)	M10×50 8T (10 本セット)
	01158-0080-45B(新ジョイント)	M8×45 8T (10 本セット)

3. 給油

給油箇所	使用オイル	給油量
サイドミッション	ギヤオイル #90	0.6 リットル
コンベア駆動ミッション	スーパーギヤオイル #460	1.5 リットル